

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

◆進級要件◆

区分	履修要件
2年次への進級	1年次配当授業科目のうち、総計26単位以上を修得していること。
3年次への進級	1・2年次配当授業科目のうち、総計64単位以上を修得していること。
4年次への進級	1～3年次配当授業科目のうち、総計108単位以上を修得していること。 ただし、専門科目について、つぎの条件のすべてを満たすものとする。 1. 70単位以上を修得。 2. 1・2年次配当授業科目の必修科目のすべてを修得。

◆卒業要件◆

4年間以上在学し、(1)～(4)に示す要件をすべて充足しておくことが必要です。
1つでも不足している場合は「留年」となります。
(1) 卒業に必要な単位数

専門科目	97単位以上
教養科目	27単位以上
計	124単位以上

注. 「職業指導」および教職に関する科目の単位数は進級・卒業要件に含めることはできない

(2) 卒業に必要なGPA値
入学時からの累積GPA（後述）が1.3以上であること

(3) 卒業要件のうち、専門科目の履修方法

必修科目	28単位
選択必修科目 選択科目	[全コース共通] 69単位以上 専門基礎群から14単位以上 専門コア群および少人数教育群から55単位以上
選択必修科目 選択科目	[都市建設コース] つぎの条件のすべてを満たすものとする。 1. 専門基礎群数学系の「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」「工業数学Ⅰ」から8単位以上を修得。 2. 専門基礎群科学系および情報系の選択科目から5単位以上を修得。 3. 「構造力学Ⅰ」「鋼構造学」「コンクリート構造学」「建設施工学」「建設工学実験」「都市環境数理総合演習」「都市建設設計製図」を修得。 4. 専門コア群建設系の「構造力学Ⅰ」を除く選択必修科目の中から6単位以上を修得。 5. 専門コア群環境計画系の選択必修科目の中から4単位以上を修得。 6. 専門コア群専門応用系の「鋼構造学」「コンクリート構造学」「建設施工学」を除く選択必修科目の中から8単位以上を修得。 7. 専門コア群倫理法規系の選択必修科目の中から2単位以上を修得。 8. 少人数教育群専門演習系の選択必修科目の中から2単位以上を修得。 9. 少人数教育群総合演習系の「都市環境数理総合演習」「都市建設設計製図」を除く選択必修科目の中から2単位以上を修得。 [環境計画コース] つぎの条件のすべてを満たすものとする。 1. 専門基礎群数学系の「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」「工業数学Ⅰ」から8単位以上を修得。 2. 専門基礎群科学系および情報系の選択科目から5単位以上を修得。 3. 「環境衛生工学Ⅰ」「計画システム」「環境工学実験」「都市環境数理総合演習」「環境計画設計製図」を修得。 4. 専門コア群建設系の選択必修科目の中から4単位以上を修得。 5. 専門コア群環境計画系の「環境衛生工学Ⅰ」「計画システム」を除く選択必修科目の中から10単位以上を修得。 6. 専門コア群専門応用系の選択必修科目の中から8単位以上を修得。 7. 専門コア群倫理法規系の選択必修科目の中から2単位以上を修得。 8. 少人数教育群専門演習系の選択必修科目の中から1単位以上を修得。 9. 少人数教育群総合演習系の「都市環境数理総合演習」「環境計画設計製図」を除く選択必修科目の中から2単位以上を修得。 [都市環境総合コース] つぎの条件のすべてを満たすものとする。 1. 専門基礎群数学系から4科目以上を修得すること。ただし、「微積分Ⅰ」「微積分Ⅱ」「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」「工業数学Ⅰ」から8単位以上を含むこと。 2. 専門基礎群科学系および情報系の選択科目から6単位以上を修得。 3. 「構造力学Ⅰ」「地球環境学」「環境衛生工学Ⅰ」「計画システム」「鋼構造学」「コンクリート構造学」「技術者倫理」「実践日本語演習」「都市環境総合演習Ⅰ」「都市環境総合演習Ⅱ」「建設工学実験」「環境工学実験」を修得。 4. 専門コア群建設系の「構造力学Ⅰ」を除く選択必修科目の中から4単位以上を修得。 5. 専門コア群環境計画系の「地球環境学」「環境衛生工学Ⅰ」「計画システム」を除く選択必修科目の中から4単位以上を修得。 6. 専門コア群専門応用系の「鋼構造学」「コンクリート構造学」を除く選択必修科目の中から8単位以上を修得。 7. 少人数教育群総合演習系の「都市建設設計製図」または「環境計画設計製図」のいずれかを修得。 8. 少人数教育群専門演習系の選択必修科目の中から3単位以上を修得。
計	97単位以上

注. 選択必修科目で修得した単位数のうち、所定の単位数を超える単位数は、選択科目の単位数として算定する。

(4) 卒業要件のうち、教養科目の履修方法

必修科目	1単位
選択科目	1. 英語系、外国語系から8単位以上を修得。 2. スポーツ系から2単位以上を修得。 3. 人文科学系、日本語系から4単位以上を修得。 4. 社会科学系、自然・科学技術系、地域志向系、キャリアデザイン系、 共通基礎系、教養特別系から12単位以上を修得。 ただし、自然・科学技術系の「産業技術史」、「科学技術教養V」、「科学技術教養R」、「科学技術教養A」、「科学技術教養M」、「科学技術教養E」、および「科学技術教養T」から2単位以上を含む。
計	27単位以上

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (GradePoint)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。成績の標語は入学年度により異なります。

【2025年度以降入学生】

成績	評語	GP (グレートポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	S	4	合格
89点～80点	A	3	
79点～70点	B	2	
69点～60点	C	1	
59点～40点	D	0	不合格
39点～0点	E		
評価不能	*		

【2024年度以前入学生】

成績	評語	GP (グレートポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

GPA＝

(4×S【A】の修得単位数)+(3×A【B】の修得単位数)+(2×B【C】の修得単位数)+(1×C【D】の修得単位数)

履修した授業科目の単位数の総和(不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)

※【】内は2024年度以前入学生の評語です。

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。

下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象
専門	◆専門科目◆
必修	≪必修≫
選必	≪選択必修≫
専門基礎	【専門基礎群】
数学	〔数学系〕
専門コア	【専門コア群】
建設	〔建設系〕
環境計画	〔環境計画系〕
専門応用	〔専門応用系〕
倫理法規	〔倫理法規系〕
測量実験	〔測量・実験系〕
少人数	【少人数教育群】
専門演習	〔専門演習系〕
総合演習	〔総合演習系〕
選択	≪選択≫
専門基礎	【専門基礎群】
選択数学	〔数学系〕
科学	〔科学系〕
情報	〔情報系〕
専門コア	【専門コア群】
建築	〔建築系〕
教養	◆教養科目◆
必修	≪必修≫
選択	≪選択≫
1. 英語	【英語系、外国語系】
英語外国	〔英語系、外国語系〕
留帰日除	〔留学生・帰国学生科目（日本事情Ⅰ、日本事情Ⅱ除く）〕
資格語学	〔資格認定（語学）〕
2. スポ	【スポーツ系】
3. 人文	【人文科学系、日本語系】
4. 社会	【社会科学系他】
社地キ共	〔社会科学系、地域志向系、キャリアデザイン系、共通基礎系〕
自然科学	〔自然・科学技術系〕
教養特別	〔教養特別系〕
留帰日	〔留学生・帰国学生科目（日本事情Ⅰ、日本事情Ⅱ）〕
他学部	〔他学部・他学科科目（社会科学系を含む）〕
対象外	判定対象外
通常	◆通常科目◆
資語学外	◆資格認定（語学以外）◆

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106